

現在、当院 呼吸器外科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

部分充実型陰影を呈する cN0、pN1-2 の原発性肺癌の検討

2. 対象となる方

2013 年から 2020 年に当院で、肺癌に対する手術を受けられた患者さん

3. 研究の目的

肺癌は CT でしばしば薄い影の部分と濃い影の部分が混在した影として写ります。薄い影の部分を『すりガラス陰影』、濃い影の部分を『充実影』と言います。これらが混在する肺癌を『部分充実型の肺癌』と表現し、リンパ節転移の頻度が低く、充実型の肺癌と比較して予後が良好とされています。そのため、手術では、区域切除や楔状切除などの小さく切除する手術が行われる傾向にあります。しかしながら、まれに部分充実型の肺癌でありながらリンパ節転移が見られることもあります。

どのような症例が術前にはリンパ節転移がない (cN0) と判断され、術後にリンパ節転移が判明するか (pN1-2) は十分に分かっていません。これらのがんを分析することは、今後の手術方法ならびにリンパ節郭清の省略において重要な情報となりえると考えています。

4. 研究期間

2024 年 10 月 (倫理審査委員会承認後) ~ 2025 年 12 月 31 日 (予定)

5. 研究に使用する試料・情報の種類

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：病歴、年齢、性別、既往歴、身長、体重、喫煙歴
- 2) 術前血液検査、画像検査 (CT 及びエックス線写真)
- 3) 手術情報：術式、手術時間、出血量、周術期合併症、術後在院日数
- 4) 生存情報、再発の有無、再発後の治療

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院呼吸器外科 主任部長 藤原 俊哉

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
この研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 呼吸器外科 牧 佑歩